

こどもひろば

だいごう
2021.6 (第309号)

よんでみて！あたらしくはいった本

『ぼくはひとりで』

フン・グエン・クアン, フイン・キム・リエン／作・絵,

げんしょへんしゅう

ダフネ・リー／原書編集, はっとり こまこ／訳 富山房インターナショナル
(J/P180)

■ベトナムのメコン川のちかくでは、あめのきせつになると、みちもはたけもみずのした。とうさんもかあさんもいそがしいから、ぼくは、ひとりでボートをこいでがっこうに行く。



幼児 ★★★



『けんだましょうぶ』

ふくいんかんしよてん

にしひら あかね／作 福音館書店 (913/N203)

■けいくんは、けんだまをもってあそびにでかけました。いっしょにけんだまであそぶひとをさがしていると、きつね、たぬき、まじよ、てんぐと、つぎつぎにへんてこなけんだまをもったひとにであいます。

小学生 ★



『ろくぶんの、ナナ』

いわさきしよてん

林 けんじろう／作 岩崎書店 (913/H210)

おとず

ゆうえんち

みやげや

■遠足で訪れた遊園地でみんなとはぐれてしまったナナは、お土産屋さんで小さなサイコロをもらう。それは、さわると性格が変わってしまうサイコロだった。引っ込み思案なナナだったが、サイコロの影響で少しずつ変わっていく。



小学生 ★★★

★がおおいほど本のないようがむずかしくなるよ。

★おはなし会 中止のお知らせ★

しんがた かんせんかくだいぼうし
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月のおはなし会は
ちゅうし
すべて中止します。

6/8 (火) こうさぎおはなし会
6/12(土) おおぼこおはなし会
6/26(土) わくわくかみしばい会 } 中止します。

よてい けいじ
7月のおはなし会の予定は決まりしだい、ホームページや掲示などでお知らせします。

しんがた

●新型コロナウイルスをふせぐためのおねがい●

- ねつ ●熱やかぜをひいたときは、お家ですごしましょう
- マスクをしましょう
- としょかん ●図書館に来た時も帰る時も、しょうどくやく 出入口の消毒薬で、しょうどく 手や指を消毒しましょう
- ほかの人と、間をあけましょう



けんりつ としょかん

県立図書館のあいている日と時間

つうじょう かいかんじかん
6月から、通常の開館時間にもどります。

火ようび～金ようび ごぜん9時 から ごご7時 まで
土・日・しゆくじつ ごぜん9時 から ごご5時 まで
毎しゅう月ようびが、お休みです。





じどうしりょう

ほんだな

児童資料コーナーには、いろいろな本棚があります。

さが

どこにどんな本がならんでいるか知っていると、本が探しやすいですよ。

じどうしりょう

たな

そこで今回は、児童資料コーナー入り口近くにある「新しい本」と「今月の本」の棚を
しょうかい
ご紹介します。

新しい本

としょかん

さいしょ

たな

図書館に新しく入った本は、最初に、「新しい本」の棚にならべます。

さが

たな

さが

新しい本を探している人は、まずこの棚から探してみてください。

この「こどものひろば」の1ページ目「よんでみて! あたらしくはいった本」で
しょうかい
しょうかいしている本も、月のはじめに、ここにならべています。

今月の本

たな

「今月の本」の棚では、毎月テーマを決めて、そのテーマに合った本をならべてい
ます。テーマは、季節や、行事・イベントなどに合わせた「その月ならではの」もの
を選んでいきます。

6月のテーマは・・・**おとうさん・おかあさんの本**です。

かんしゃ

つた

6月20日はおとうさんに感謝の気持ちを伝える「父の日」です。

5月には「母の日」もありましたね。

今月は、いろいろなおとうさん・おかあさんが出てくるおはなしの本をしょうかい
します。



● 『カルペパー一家のおはなし』

マリオン・アピントン／作，ルイス・スロボドキン／絵，清水 眞砂子／訳

しみず まさこ やく

ずいろうんしゃ
瑞雲舎（930/U6）

● 『ぼくつかまらないもん!』

マーガレット・ワイズ・ブラウン／文，なががわちひろ／訳，長野ヒデ子／絵

やく

あすなろ書房（J/N48/80）

しょうぼう

● 『マチルダとふたりのパパ』メル・エリオット／さく，三辺 律子／やく

さんべ りつこ

いわさきしよてん
岩崎書店（J/E88）

い

どの本も、かりることができます。ぜひ読んでみてください。

* 3ページまでは、小学3年生から習う漢字にルビ（ふりがな）をつけています。

なら かんじ

* 「こどものひろば」は、県立図書館のホームページでも見ることができます。

けんりつ と しょかん

URL : <https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>



子どもと本を楽しむ大人のみなさんへ

●ミニ展示「よんでみて！やさしいおはなし」●

5～6歳から、小学校低学年くらいで楽しめるおはなしの本を紹介するミニ展示を行っています。

少し長い本でも、大人が読んであげれば楽しむことができます。耳からおはなしを楽しんだ子は、やがて一人で読めるようになっていきます。

雨の日には、お家で読み聞かせを楽しんでみてはいかがでしょうか！

期間：6月5日（土）～7月4日（日）

場所：児童資料コーナー 入口近くのブックトラック

* どの本も、借りることができます。



こんな本を展示します。



左『くまの子ウーフ』

神沢 利子／作、井上 洋介／絵 ポプラ社

右『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット／さく

ルース・クリスマン・ガネット／え

渡辺茂男／やく、子どもの本研究会／編

福音館書店

今月のコラム「まだまだ継続中！」

数ヶ月前、我が子が読み聞かせを聞いてくれる時期が終わりそうでさみしい、というコラムを書いたのですが、今のところまだ継続中です（笑）

小2になった双子の息子たちは、相変わらず寝前に「これ読んで～」と言っています。私が図書館から借りて帰った「1ねん1くみ」シリーズ（後藤竜二／作 ポプラ社）、「モンスターホテル」シリーズ（柏葉幸子／作 小峰書店）、「ぼくはめいたんてい」シリーズ（マージョリー・ワインマン・シャーマット／ぶん 大日本図書）などを、次々と持ってきます。どれも30年以上前に刊行が始まったシリーズですが、子どもの気持ちがよく描かれていて面白いようです。「かわいそう！」「すごいな！」など感想を言いながら聞いています。『アリババと40人のとうぞく』（ほるぷ出版）など昔話も真剣に聞いています。弟は怖がりなので、危険が迫る場面になると遠くへ行ってしまう。それだけ主人公になりきって聞いているということでしょうか。

自分ですいすい読むのは「おばけずかん」シリーズ（斉藤洋／作 講談社）くらいですが、二人で笑いながら読む姿を見るのもよいものです。

コロナや梅雨で、お出かけが難しい日が続きます。身近に本を置いておいて、楽しい時間をお過ごしください。（H）

